

(令和3年6月試験研究業務月報)

試験研究課題：ブランド京野菜生産拡大のための機械化・省力体系の構築

(3)機械化による丹波黒ダイズエダマメの省力収穫体系の構築

(令和3年度プロジェクト課題)

研究

省力収穫体系の構築を目指し、エダマメを植え付けました

丹波黒ダイズから育成した黒大豆エダマメ『紫ずきん』及び『京夏ずきん』の需要は、このコロナ禍においても他の野菜類に比べ堅調で、生産拡大が期待される品目となっています。

当センターでは、黒大豆エダマメを2ha作付けする大規模経営体の育成支援のため、収穫作業を省力化できる収穫・脱莢^{さや}一体機に適応する草姿改善と機械の改良を目指した研究を今年度から始めました。6月4日に『京夏ずきん』の移植を行い、その後、『紫ずきん』を順次、植えています。

6月17日と24日には、本研究の協力企業であるヤンマーアグリジャパン(株)の移植機を試用した機械移植作業も行いました。今後、生育と収穫の調査結果に基づき、収穫機への適応技術を確立するとともに、収穫機の改良につながる提案を行い、エダマメの機械化栽培を実現します。



機械移植作業（6月17日実施）



移植後7日目の『紫ずきん』（左うね）と同20日目の『京夏ずきん』（右うね）